

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
2022年度第10回(12月)理事会議事録

- ◇日時： 2022年12月8日(木) 18時30分～20時00分
- ◇会場： Web 会議併用(公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 事務所)
- ◇出席者： (事務所参加) 増田、上田、山西、梶、久保田、岡本、谷川、上地、赤木、喜舎場、竹村、是永、藪、堀田、佐藤、柴監事、井戸田監事、高田参与、竹浦参与
(Web 参加) 山田、安保、豊田
- ◇議長： 増田

本理事会は Zoom 会議システムを用いて理事会を開催する旨を宣言し、意見表明が互いのできることを確認し議案の審議に入った。

【 討議内容 】

I. 行動報告(11月分)

日	行動内容	役員名
1	大阪市衛生検査所精度管理立入検査	井戸田
4	地区責任者会	(事務所) 谷川、喜舎場、藪、堀田、是永 (Web) 上田
5	実務統計講座	山西
9	府民健康フォーラム会場下見	赤木、岡本
10	第9回理事会	(事務所) 増田、山西、上田、梶、山田、安保、谷川、岡本、上地、竹村、赤木、是永、喜舎場、柴、井戸田、竹浦、高田 (Web) 久保田、佐藤、堀田、藪、豊田
12	実務統計講座	山西、竹村
14	手話講習会(第4回)	赤木
15	渉外部会	(事務所) 赤木、岡本、喜舎場 (Web) 上田
16	総務庶務・広報編集・会計部会	(事務所) 梶、上地、藪、山田、是永 (Web) 久保田、佐藤、堀田、豊田
18	組織部会	(事務所) 谷川、堀田、藪、是永 (Web) 上田
20	タスク・シフト/シェア講習会	上田、谷川、藪、喜舎場、是永

22	第8回常務理事会	(事務所) 増田、梶、安保 (Web) 山田、久保田、上田
23	日臨技理事会	高田
24	第6回大臨技医学検査学会実行委員会	(事務所) 増田、上田、梶、安保、赤木、喜舎場、是永 (Web) 久保田、山田、岡本、谷川、上地、堀田、豊田、佐藤
25	精度管理部会	竹村
26	検査説明・相談ができる検査技師育成講習会	上田、谷川、喜舎場、藪
28	手話講習会(第5回)	赤木
30	大阪市衛生検査所精度管理立入検査	高田

II. 経過報告

1. 事務局

〈総務庶務部〉(報告者: 梶副会長) 11月16日(水) Web 会議併用にて開催した。

- (1) 2023年新年互礼会進捗について検討した。
- (2) 記念誌年輪VII発行について検討した。
- (3) 大臨技公式LINEの導入について検討した。
- (4) 大臨技コロナ感染防止対策ガイドラインについて検討した。

〈広報編集部〉(報告者: 山田常務理事) 11月16日(水) Web 会議併用にて開催した。

- (1) 大臨技ニュース11月号 Web 版を発行した。
- (2) 大臨技ニュース12月号(第407号)の編集作業を行った。
- (3) ホームページの更新を随時行った。

2. 財務局

〈会計部〉(報告者: 久保田常務理事) 11月16日(水) Web 会議併用にて開催した。

- (1) 事務員11月給与を支給した。

3. 事業局

〈渉外部〉(報告者: 上田副会長) 11月15日(火) Web 会議併用にて開催した。

- (1) 大臨技「検査と健康展」について検討した。
- (2) 大臨技がんフォーラムについて検討した。
- (3) 第6回大臨技医学検査学会渉外部企画について検討した。
- (4) 2022年度冬季献血推進活動(通算第59回)について検討した。
- (5) 大臨技疾患予防セミナーの進捗状況について報告した。
- (6) 第17回府民健康フォーラムの進捗状況について報告した。

- (7) 2022 年度大臨技大放技合同フォーラムの進捗状況について報告した。
- (8) 大阪・関西万博プレイベントに参加し、渉外部が企画運営主体となることを報告した。
- (9) 理事会報告を行った。

〈組織部〉(報告者：上田副会長) 11 月 18 日 (金) Web 会議併用にて開催した。

- (1) 施設連絡者会について検討した。
- (2) 大臨技学会企画『タスク・シフト/シェアワークショップ』について検討した。
- (3) 2023 年度新入会員研修会について検討した。
- (4) タスク・シフト/シェア講習会の実施状況について報告した。

〈学術部〉(報告者：安保常務理事) 開催なし

- (1) 大臨技学会学術部企画についてメールにて検討を行った。

〈精度管理部〉(報告者：竹村理事) 11 月 25 日 (金) Web 会議併用にて開催した。

- (1) サーベイ報告会について検討した。
- (2) 統計セミナーの実施状況について報告した。
- (3) 年間予定表について検討した。

III. 報告事項

1. 職務執行状況報告について (会長・副会長・常務理事)

- (1) 増田会長、梶副会長、上田副会長、山西副会長、山田常務理事、安保常務理事、久保田常務理事、竹村理事より職務執行状況についてそれぞれ報告が行われた。
- (2) 2022 年 11 月における役員行動報告・役員各部報告があった。

2. 2022 年度 11 月事業開催状況報告について (梶副会長)

- (1) 上記について資料が示され確認した。

3. 2023 年度事業計画及び予算案について (梶副会長)

- (1) 2023 年度事業計画予算書案を 12 月 23 日までに提出をお願いした。
- (2) 令和 5 年 4 月 1 日施行の謝金及び旅費の支給に関する規程に沿って予算を作成すること。
- (3) 今後の予算審議・予算承認のスケジュールが示された。

4. 会計月次報告について (柴監事)

- (1) ICT 部門 60,000 円と糖尿病療養指導部会 150,000 円の余った事業費が返金されたと報告があった。
- (2) 各部で余った事業費をどのように運用するか理事会で検討する必要がある。
- (3) 各部門は次年度事業費予算を現状の予算執行管理表を参考にして考える必要がある。
- (4) 各部で余った事業費について精査するように依頼した。

5. 渉外部の予算流用について（岡本理事）

- （1）疾患予防セミナーが予算不足のため看護の日事業から 33,000 円、豊中市健康展事業から 20,000 円流用させてほしいと要望があり承認された。
- （2）今後は事業予算を流用する場合は様式を会計部に提出して承諾を得る。会計部は理事会で承認を得る必要がある場合は議題としてあげる。
- （3）様式は会計部で作成する。

6. 次年度各部・部門委員選出について（上田副会長）

- （1）上記についてメールで様式を送信するので 2 月初旬までに上田理事へ返信する。

7. 2023 年大臨技新年互礼会について（上地理事）

- （1）現時点での出欠が示された。
- （2）当日の服装・バッジについての案内があった。
- （3）写真撮影や余興について検討された。

8. 核酸増幅検査（PCR 等）実技研修会について（増田会長）

- （1）12 月 10 日開催分は 15 名の申し込みがあった。
- （2）第 2 回目は 1 月 14 日、第 3 回目は 2 月 11 日に OMM で開催する予定である。

9. 第 6 回第医学検査学会第 4 回実行委員会の開催について（安保常務理事）

- （1）2022 年 12 月 22 日 19 時から開催する予定である。

10. 日臨技報告（高田参与）

- （1）令和 5 年度予算・税制等に関する要望書として 5 項目を提出した。
- （2）日臨技で事務員を募集している。
- （3）令和 5 年度日臨技医学検査学会の一般演題の募集の締め切りを延長しており応募をお願いした。
- （4）第 62 回日臨技近畿支部医学検査学会が和歌山県で 2023 年 10 月 21 日・22 日に開催される予定である。2024 年は大阪での開催が候補に挙げられている。
- （5）タスク・シフト/シェア講習会は次年度から他府県を超えて受講できるようになる。受講人数の多い県は他府県への申し込み制限が設けられるかもしれない。
- （6）日臨技サーベイの試薬が高騰しているが次年度の高騰分は日臨技が負担する。しかしその翌年度より参加費の値上げを検討している。

11. その他

- （1）教育セミナーについて（谷川理事）
 - ・次年度の教育セミナーをどのような開催形式にするか学校に意見をきいてみる。

IV. 議 題

1. 新型コロナウイルス感染拡大防止 ガイドライン改訂について（梶副会長）

(1) 上記ガイドラインの収容人数について『会場の収容人数は各自治体の要請に従う。』ということで承認された。

(2) 厚生労働省の新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA) の運用が廃止されたのでその記載部分を削除することが承認された。

2. 学術部 検体管理システム部門について (増田会長)

(1) 検体管理システム部門を廃止にし、総合管理部門を立ち上げる。事業分類は以前と同じ公2とし教育・公衆衛生、情報システム・検査管理を担う。

(2) 部門長は堺市立総合医療センターの佐々木伸也氏に承諾を得ている

(3) 組織部の技師長会を総合管理部門に編入できないか検討する。

(4) 次年度の大阪府への事業計画に新規事業について記載する必要がある。

3. 「地域ニューリーダー育成研修会」の受講申請及び推薦について (増田会長)

(1) 令和4年は上地理事、令和5年は藪理事、令和6年は是永理事が参加することで承認された。

(2) 次年度の大臨技での地域ニューリーダー育成研修会は久保田常務理事、安保常務理事、岡本理事が中心になって事業を行う予定である。

4. 『災害LINE登録のお願いと施設連絡者会の案内方法について』(藪理事)

(1) 2023年1月14日開催の施設連絡者会の開催にあたりLINEの施設登録を増やすため施設登録をお願いする文書を送付することが承認された。

(2) LINEを活用するために大臨技で公式アカウントを取得することやLINEオープンチャット機能を使用することを検討している。

5. 超音波装置購入について (佐藤理事)

(1) 4社から見積もりと機種内容が示された。

(2) GE社とFuji film社に対して再見積もりをお願いする。

(3) 部門で余っている事業費を返金してもらえれば機器を購入する資金は調達できる見通しである。

14. その他

(1) 物品借用について (赤木理事)

・府民健康フォーラムと大放技合同フォーラムにビデオ機材一式の貸し出し依頼があり承認された。

(2) ATC OSAKA MIRAI EXPO (プレ万博) 参加について (増田会長)

・参加申し込みをすることが承認された。